

令和6年度近畿建設リサイクル表彰

奨励賞

【再使用・再生利用部門】

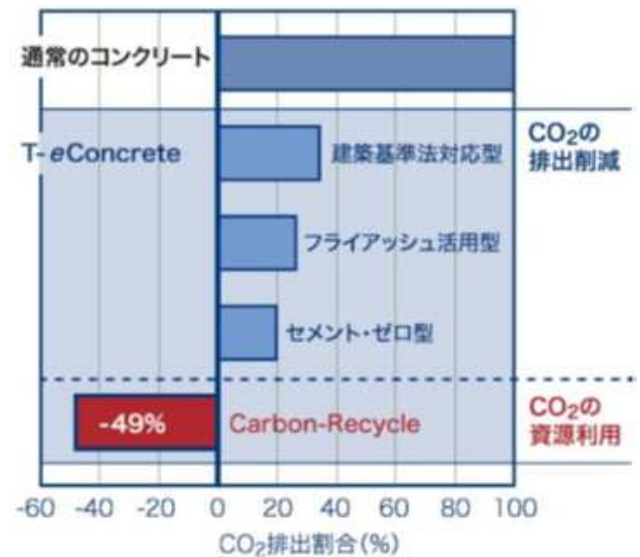
たいせい・ふじピーエス・えむえむびー いこうしゅけんせつこうじきょうどうきぎょうたい きれうりわりばしだいきぼこうしんこうじ
大成・富士ピーエス・MMB異工種建設工事共同企業体 喜連瓜破橋大規模更新工事

カーボンネガティブを可能にするカーボンリサイクル・コンクリートの道路インフラへの初の適用

①二酸化炭素排出量収支がマイナスとなるカーボンリサイクル・コンクリートの適用

- ・二酸化炭素排出量収支が $-20\text{kg}/\text{m}^3$ となるカーボンネガティブのコンクリートを、現場打ちコンクリートとして道路インフラに適用(5.2 m^3 、延長10m)した国内初の事例。
- ・資源循環の観点から、カーボンリサイクル・コンクリートを1 m^3 使用した場合、通常コンクリートより多くの産業副産物を使用している($A < B$)。

⇒A: 通常コンクリート中の産業廃棄物利用量: 0.159トン
B: カーボンリサイクル・コンクリート中の高炉スラグ使用量: 0.263トン



コンクリートの二酸化炭素排出割合